

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 732

政策体系	25	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 5. 文化財 現年		
事業名	文化財保護事業				
細事業名	文化財保護事業				
				評価表作成者	教育委員会 社会教育課 辻 健二郎

1. 事業の概要

文化財の管理・調査、普及・啓発活動の実施

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

資料調査を継続的に進めることにより、市内にある文化財の基礎資料を得るとともに、将来の文化の向上・発展の基礎づくりを行う。また、普及啓発活動を進め、文化財を身近に体感できるように努める。

② 事業を実施する必要性

本市には指定された文化財以外にも多くの歴史的遺産が残っており、貴重な文化財を伝えていくために緊急調査などを実施し、記録を残していく必要がある。また、史跡公園などは草刈などの管理業務が必要。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	1,760	1,771	1,386	610	501	501	501
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,760	1,771	1,386	610	501	501
職員等の従事人員	人/年	—	0.46	0.34	0.34			
人件費	千円	—	3,055	2,369	2,466			
事業費総額	千円	—	4,826	3,755	3,075			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

現地調査謝礼	27,100円（報償費）
古墳公園草刈委託等	136,500円（委託料）
活動助成等	106,000円（負担金、補助及び交付金）
調査報告書印刷	136,500円（印刷製本費）

5. 事業結果の概要

調査活動（アユモドキ生息調査、建造物調査、市内文化財調査）
 普及啓発活動（刊行図書、歴史体験学習、文化財防火デー査察等）

6. 活動の詳細

維持管理事業		
史跡黒田古墳環境整備事業	22. 6. 22～22. 11. 5	古墳公園の草刈を実施。
調査事業		
天然記念物アユモドキ生息確認調査 建造物調査 市内文化財調査	22. 5. 26～23. 3. 8 23. 3. 30 22. 6. 26～22. 7. 17	アユモドキを確認し、生息報告会を実施した。美山地区において建造物の現地測量を委託業務として実施。市内の文化財調査を園部、美山地区で実施。
普及啓発事業		
歴史体験学習 文化財防火デー関連行事 報告書の刊行	22. 4. 16 23. 1. 22～1. 27 23. 3. 30	黒田古墳公園での現地学習。防火訓練、防火査察の実施。遺跡調査報告、文化財報告の刊行。

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

昨年度に引き続き専門家による現地調査が実施できた。一度の調査ですべてが報告書などの形で残せることはないので、美術工芸品や祭礼などの各分野で継続した調査が望まれる。
また、アユモドキの生息確認調査では、1個体を発見することができた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

昨年度に引き続き専門家による現地調査が実施できた。一度の調査ですべてが報告書などの形で残せることはないので、美術工芸品や祭礼などの各分野で継続した調査が望まれる。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
文化財審議委員の積極的な活動の推進
- ②当該事業のアピール事項
将来の文化向上・発展の基礎づくりを積極的に進めることにより資料の蓄積が進められ、市史編さん時等、活用を欲する時に大きく寄与することができる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
過疎地域などでは祭礼が後継者不足から消滅の危機に陥っている現況があり、早急に調査を進めていく必要